

アグリジャンプ 10

2024 October

no.319



- ② 農Like! 農Life!
- ③ HOT NEWS! 独自ブランド米「みやおとめ」輸出
- ④ **特集 農業融資専任担当者紹介**
- ⑥ JAnews&Topics ⑪ 営農情報
- ⑫ 女性組織News ⑬ レシピ/直売所情報
- ⑭ 健康百科/資産管理講座 ⑲ 事業所だより



Instagram



公式HP



JAうつのみやイメージキャラクター
ジャンプくん



耕そう、大地と地域のみらい。

HOT NEWS!



米「みやおとめ」を河内運輸の加藤隆行代表取締役(右)に手渡す佐藤組会長(中央)と見形繁常務



荷台に詰め込む作業員



出発を見送る JA 役職員ら

初の単独輸出540キロ 価格安定に第一歩 米「みやおとめ」輸出出発式



JAは8月28日、JA産のブランド米「みやおとめ」のオーストラリア向け輸出の出発式をJA東部選果場で開きました。JAや河内運輸株式会社、米約540キロを乗せたトラックを見送りました。

「みやおとめ」は、JA管内で生産された「コシヒカリ」を等級1等、食味値75以上で厳選したJAの独自ブランド。市のブランド農産物として認定されています。

JA単独での米の輸出は初めてで、昨年度から準備を進めてきました。①JAのブランド力向上②農産物の販路拡大・国内取引価格の安定化③栃木県・宇都宮市など関係機関の支援による事業推進を図ることが目的です。輸出商社を通して、コンテナ船便(冷蔵)で他の農産物と混載して輸送します。

オーストラリアの日本食市場は、すしやラーメンが中心。特にすしはテイクアウトの巻

きずしが主流と、独自の進化を遂げています。輸出商社の現地法人は、販売先を日本食・韓国レストラン業務用が7割、店舗卸・オンライン販売が3割を占めています。今回輸出する「みやおとめ」は販路拡大に向けて売り込んでいきます。

佐藤組伸組会長は「輸出への第一歩を踏み出すことができた。小さな一歩ではあるが、販路拡大による価格安定、農家所得の増大につなげていきたい」と話しました。今後は輸出結果を検証し、品種や包装材料などの現地ニーズに即した商品アイテムを開発します。



段ボールに入った「みやおとめ」

2024年度農業融資専任担当者紹介



農業融資専任担当者は農業に関する融資専門の外回り職員で、機械更新・ハウス増設・倉庫建設など多様なニーズに対応しています。

また、相談に応じて最適な資金をご提案できるよう、各融資担当者や各営農経済センターの営農相談員と連携し、借入手続きのサポートを行っています。

担当者紹介

金融部資金運用課

かわかみ だい き

川上大貴さん

【担当エリア】

- ・ 北部支所
- ・ 上河内支所
- ・ 河内支所
- ・ 豊郷支所
- ・ 平石支所
- ・ 清原支所



金融部資金運用課

さいとう けい すけ

齋藤圭佑さん

【担当エリア】

- ・ 中央(宝木)支所
- ・ 城山支所
- ・ 姿川支所
- ・ 南部支所
- ・ 上三川支所
- ・ 南河内支所

私たちが皆さまのもとにお伺いしますので、ぜひお気軽にご相談ください！

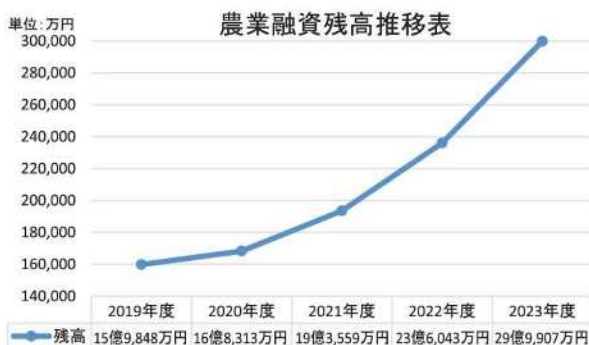
これまでの取り組み

【農業融資専任配置後の残高比較】

+14億100万円の残高伸長

2019年度（配置前）15億9,800万円 ➡ 2023年度（配置後）29億9,900万円

なお、2024年8月末現在は31億6,877万円となっています。



「どんな資金が使えるのか」「借りたいけど手続きが大変そう」「どのくらいの期間で借りられるのだろう」など、農業資金・農業経営に関するお悩みは、農業融資専任担当者が解決いたします！



地域全体で盗難防止を JA・県警察・河内地域農作物等盗難防止対策連絡会議



生産者に注意を促す警察署員



ステッカーを付けたパトカー

JAは8月1日、JA本所で、県警察、河内地域農作物等盗難防止対策連絡会議と合同で「河内地域農作物等盗難防止合同パトロール出発式」を行いました。

毎年、県内各所で農産物の盗難被害が発生しています。同JA管内でも、これまでに梨やイチゴなどで被害が出ました。収穫期に地域全体でパトロールを強化することで犯罪を抑止し、生産者への注意喚起で防犯への意識を高めます。

当日は、JAの役職員や行政担当者、宇都宮中央警察署の職員ら21人が参加。同警察署長が合同パトロール実行宣言をし、「農畜産物等盗難防止パトロール実施中！」と書かれたステッカーを付けたパトカー、JAと行政の公用車計3台が一斉に出発しました。

不審者・車両など危険性を確認しながら巡回。警察署員が生産者に①ほ場出入り口の施錠②警報センサーの設置③防犯カメラの設置一などの対策を説明しました。

JAの半田光隆専務は「盗難被害は生産意欲まで減退させてしまう悪質な犯罪。地域全体で盗難防止に努めたい」と話しました。

宇都宮市に施策要望書を提出 宇都宮農業協同組合農政対策協議会



要望書を佐藤市長（中央）に手渡す佐藤会長（左から2人目）ら

宇都宮農業協同組合農政対策協議会は8月19日、宇都宮市役所で、佐藤栄一市長に2025年度宇都宮市農業に関する施策要望書を提出しました。同協議会の佐藤俊伸会長が、農業者の所得増大に向けた農業生産基盤の維持・拡大、担い手の確保・育成、農畜産物の消費拡大などを求めました。

地域農業の振興に向けて①公益的な役割を担う農地の受皿組織の強化②生産資材などの高騰対策③担い手支援対策④需要に応じた米生産の取り組み⑤農畜産物消費拡大対策⑥環境に配慮した農業生産への支援一の6項目を要望しました。

後継者のいない65歳以上の土地利用型の担い手が管内に約90人おり、10年後に900ヘクタールの受け皿がなくなり遊休農地の増加が懸念されるとし、支援が必要だと強調しました。

佐藤市長は「要望はどれも重要。消費の拡大や担い手の確保・育成など、しっかりと対応していく」と話しました。

年内からの防除促す JA玉葱専門部



説明を聞く参加者

JA玉葱専門部は8月上旬の2日間、栽培講習会と土壌診断事後指導会をJA管内3会場で開き、部員や関係機関の担当者ら延べ約60人が参加しました。

栽培講習会では、県河内農業振興事務所の担当者が生育経過やべと病対策などを説明。今年産は、べと病と抽台の発生が多く出荷数量が大きく減少。来年産のタマネギは年内から防除をするよう促しました。種苗メーカーの担当者は、来シーズンの作柄や品種別特性・栽培方法を説明しました。

土壌診断事後指導会では、JAグリーンとちぎの担当者らが診断書の見方を説明。事前に提出した診断内容などを基に、土壌に関する不安や悩みについて個人指導を行いました。

年1作を実証 JAニラ専門部



現地で検討する参加者

JAニラ専門部は8月5日、上三川町の津野田勝弘さんのほ場で現地検討会を開き、部員や県、JAの担当者ら24人が参加。ニラ「ゆめみどり」とウォーターカーテン技術を利用した「1年1作連続収穫栽培」の実証状況などを確認しました。

「1年1作連続収穫栽培」は、株の養成期間後に休眠させず秋から春まで連続して収穫する作型。

津野田さんが栽培概要や作業内容を説明しました。参加者はほ場を見ながら意見を交わしました。JAの担当者は、取り組みの要点や試験結果を報告。マルチ展張後に定植することで除草剤が不要になるなどの利点があるとし、定植期・株養成期間などで検討が必要だと述べました。

抑制トマト高温対策を JAトマト専門部抑制トマトグループ



生育状況などを確認する参加者

JAトマト専門部抑制トマトグループは8月8日、宇都宮市のほ場4カ所で現地検討会を開きました。部員やJA職員、関係機関の担当者ら約15人が参加。トマトの生育状況や猛暑に負けない栽培管理について確認しました。

現地検討会では、各ほ場主が穂木・台木や定植日、栽培概要などを説明。参加者はほ場を視察し、生育状況などを確かめました。県河内農業振興事務所の担当者は、今後の気象予報や管理の注意点などを説明。障害果の発生を防ぐため、少量多かん水や遮光・遮熱資材の塗布などの高温対策をするよう促しました。

抑制トマト厳選 JAトマト専門部抑制トマトグループ



目ぞろえをする参加者

JAトマト専門部抑制トマトグループは8月19日、JA東部選果場では出荷目ぞろえ会を開き、部員やJA職員、JA全農とちぎの担当者ら21人が参加しました。

JA全農とちぎとJAの担当者がトマトの販売状況や今後の見通しなどを報告。JAの担当者が生産・出荷計画などを説明。オンシツコナジラミなどの付着品や着色が基準位を超えたものなど、規格外品を持ち込まないように申し合わせました。目ぞろえでは、現物を見ながらトマトの形状や着色の度合いなどを確認し、出荷規格の統一を図りました。

大森康弘グループ長は「まだまだ暑い日が続くと思うが、体調に気を付けて出荷してほしい」と話しました。

早期米「なすひかり」稲刈り始まる JA



コンバインで稲刈りをする粕田さん

JA管内で8月下旬、2024年産米の稲刈りが始まりました。

宇都宮市の粕田威宏さんは24日、「なすひかり」約80アールを収穫しました。今年は平年と比べ7月中の日照時間が長く生育が進み、例年より早い収穫を迎えました。JAでは粕田さんをはじめ、生産者が4月中旬に移植した「なすひかり」を早期米として販売しています。24年産は約53ヘクタール、約279トンの出荷を計画しています。

JAの主食用米は10月中旬ごろまで出荷され、「なすひかり」「コシヒカリ」「とちぎの星」「あさひの夢」の順に品種リレーが続きます。

「豊水」万全に やや早めの収穫促す JA梨専門部



目ぞろえをする参加者

JA梨専門部は8月下旬の3日間、4支部ごとに宇都宮市内の各会場で、梨「豊水」出荷目ぞろえ会を開きました。計約100人が参加しました。

雀宮支部では26日、針ヶ谷集荷所で開き、部員や関係機関の担当者ら18人が参加しました。出荷規格の確認では、収穫時のカラーチャートを2.0未満（厳守）で統一すること、傷害果を出荷しないことなどを申し合わせました。JAの半田陸夫技術顧問が果実の生育・肥大状況などを説明。「豊水」の果実横径は平年と比べ小玉傾向になると予測。前年同様、高温による果肉先熟となっているため、果皮色を見てやや早めで収穫するよう促しました。

ペットボトルキャップ回収運動に
取り組む参加者



ペットボトルキャップ回収運動を実施 (8月7日)

JAと女性組織、青壮年部は合同でペットボトルキャップの回収運動を行いました。今回は約923キロ（ワクチン461本相当）が集まりました。



南部支所の五十嵐彩絵さん



城山支所の吉成星輝さん



河内支所の秋山太樹さん



「令和6年度JAうつのみや 共済ロールプレイング大会」を開催 (8月7日)

JAうつのみやは「令和6年度JAうつのみや共済ロールプレイング大会」をJA本所で開きました。審査員投票の結果、南部支所の五十嵐彩絵さんが共済連主催の「第15回JA共済スマイルサポーターロールプレイング発表会」に同JA代表として参加することが決定しました。

操作方法をおさらいする参加者



みどり会中央支部が スマホ教室を開催 (8月20日)

JA女性組織みどり会中央支部は、昨年に引き続きスマホ教室をJA宝木出張所で開きました。

きれいに咲いたヒマワリ



地域農業振興の一環 憩い・癒しの場 ヒマワリ畑 (7~8月)

中央地区農業祭実行委員会は、JA中央支所管内（細谷地区）でヒマワリを栽培。みどり会中央支部も種まき・除草などの作業を手伝っています。

組合員の皆さまからの地域の話や活動報告をお待ちしております。写真を添えてお送りください。
※紙面の都合上、掲載されない場合もありますのでご了承ください。詳しくは総合企画課組合員広報係まで。

徳山篤理事長(中央)に食品を渡す
半田光隆専務(左から2人目)



JAが「フードバンクうつのみや」を支援 (8月22日)

JA本所の役職員が「フードバンクうつのみや」に米約140キロと、缶詰やレトルト食品など段ボール約3箱分を提供しました。

特設売り場でブドウを販売するJA職員



試食販売で地元産ブドウをPR (8月23日)

JAは宇都宮駅ビル・パセオ「えきの市場」内JA農産物直売所の特設売り場で、ブドウの試食販売を行いました。

管内産農産物をPRするスタッフ



芳賀・宇都宮LRT 開業1周年記念イベント「ライトライン・バスデー・パーティー」に出店 (8月25日)

JAは宮みらいライトヒルで開催された「ライトライン・バスデー・パーティー」に出店し、管内産農産物を特別ブースで販売しました。

調理する南木幸子支部長(左)と会員



今回のメニュー



みどり会平石支部が調理ボランティア (8月26日)

JA女性組織みどり会平石支部は、昭和こども食堂で調理ボランティアを行いました。

麦

基本技術の励行

実需の求めている麦の品質とするには、土づくり・排水対策・適正施肥・適期播種・病害虫防除・適期収穫などの基本技術を積み重ねることが重要です。(2024年産のタンパク含量分析結果や、表1を参考に適期播種・適正施肥に取り組みましょう)

排水対策の徹底

麦は湿害に弱く、すべての生育期間で湿害を受けやすい作物です。最近では、地球温暖化の影響で雨が激しく降る傾向が強くなり、降水量が多くなっています。

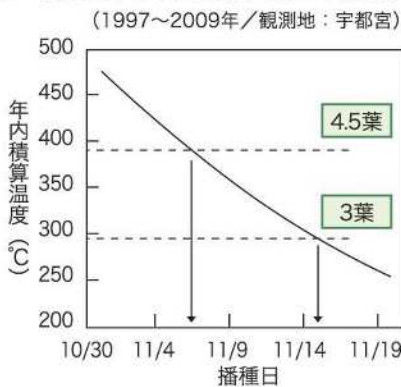


播種量と施肥量の基準

品 種 名	播種量(ドリル播)	施肥基準 (窒素成分)
ニューサチホ ゴールデン	8.5kg/10a	6.5~8.0kg/10a
さとのそら	7~8kg/10a	10~11kg/10a
ゆめかおり	7~8kg/10a	12kg/10a (ゆめ専用肥料60kg/10a) 追肥：2~4kg/10a

表1

図1 【播種日と年内積算温度との関係】



ます。排水対策として①地表排水(排水溝設置)②浸透排水(心土破碎)③畝立て同時播種栽培を行います。排水溝(明きよ)は排水口と確実につながっているか、確認しましょう。

適期播種

適正な播種時期の目安は、年内に葉齢3葉程度を確保し、根張りを十分にさせると同時に、目標穂数の8割以上の茎数を形成する時期です。

県央部(宇都宮)で年内に3~4葉を確保するための積算温度は300~400°Cなので(図1)、播種は11月6~15日が適期になります。

適期より播種が遅れると①凍上害や倒伏が発生しやすい②分けつが少なく③生育が遅れ登熟日数が短くなり、整粒歩合が低くなる④タンパク質含有率・硝子質率が增加する⑤赤かび病や穂発芽、低アミロ麦の発生が増

加するなど、品質や収量に影響が出やすくなります。

種子消毒

近年、大麦斑葉病やなまぐさ黒穂病の発生が見られます。種子伝染性病害を防除し、高品質麦を安定生産するために、種子消毒を行います。

大豆



大豆の収穫は、早すぎると刈り取り時に茎汁などによる汚損粒や破碎粒が発生し、遅れると自然裂莢による収穫ロスや割れ粒・亀甲じわ粒が多くなり、加えて連続した雨に遭うと腐敗粒が多くなり品質が低下します。

品質の低下を防ぐためには、収穫適期になったら素早く収穫することが重要で、そのための環境を事前に整えましょう。

排水溝の点検

収穫前にはほ場の排水溝を点検し、不意の大雨があっても速やかに排水ができるようにしておきましょう。降雨による作業の遅れは、麦の播種の遅れにもつながるので、排水溝を点検補修し、降雨による作業の遅れを最小限に抑えましょう。

青立ち株・大型雑草の除去

収穫前には必ず青立ち株や大型雑草を除去し、汚損粒の発生を防止しましょう。

適期に収穫を

コンバインによる収穫は、汚損粒の発生を防ぐため茎水分が40%以下、破碎粒発生を防ぐため子実水分18%以下になってから行います。表2を参考に適期を判断しましょう。降雨があった時は1~2日待って判断します。

刈り取りは茎や莢の表面が乾いている晴天の10~16時ごろに行うようにし、刈り取りの高さは10cm以上とし、刈り残しが出ない程度でなるべく高く刈りましょう。その時には必ず10分程度試し刈りを行い、品質をチェックしましょう。

○茎水分の目安
70% 緑色が残る
60% 莢と同じ褐色
40% ほとんどの茎が黒変開始し、剥皮率が30%程度
手で折ると軽くパキッと折れる
○子実水分の目安
20% 噛むと音がせず割れる
18% 爪を立てると少しあとが残る
15% 噛むとパリッと割れる
○剥皮率 (30%程度)
皮の剥げる長さ÷主莖長×100

表2

みどり会国本支部



畑の教室



スマホ教室

みどり会国本支部は、今年度会員27人で活動しています。2年目となる「畑の教室」では、新たにサツマイモを加え、野菜作りに精を出しながら、会員同士の親睦を深めています。

本部研修旅行には11人が参加し、成田山新勝寺に参拝したり、水郷潮来あやめ祭りやメロン狩りを満喫したりすることができました。

そして、5月と7月にスマホ教室を実施しました。スマートフォンの基本操作から分かりやすく教えていただき、LINEで会員同士つながることができました。

今後は、ヨガ教室や料理教室、寄せ植え教室、地域の「くにもとまつり」への参加を予定しています！

みどり会河内支部



協力しながらおまんじゅう作り



おまんじゅう作りに参加した会員

みどり会河内支部では、現在会員19人で活動しています。

6月13日に支部活動として、おまんじゅう作り・読み聞かせを開催しました。会員の多くがおまんじゅう作りに参加し、協力しながらスムーズにおいしく作ることができました。読み聞かせでは、猛暑日が続いていることから家の光に掲載されていた「夏のお悩み お助けグッズ大集合！」について取り上げ、暑い夏を乗り切るためにさまざまなグッズを紹介しました。今後の熱中症対策として一人一人が健康で安心した生活を送れるよう、全体を通して再確認しました。

毎日
食べたい

おいしく健康みそレシピ

旬のおいしさのみそが引き立てます

秋サケとキノコの炊き込み・みそご飯



材料 (4人分)

米……………2合
昆布……………小1枚
生サケ……………2切れ
(下処理用に塩、酒各少々)
ニンジン……………1/4本
糸ミツバ……………1/2束
キノコ類(シメジ・エリンギ・シイタケ)
……………100g
ギンナン……………12粒

A
酒……………大さじ2
みそ……………大さじ2
みりん……………小さじ2
しょうゆ……………小さじ1

作り方

①米は洗って炊飯器に入れ、昆布を入れて少なめの水に30分間漬けておく。
②具材の下ごしらえをする。生サケは1切れを3、4つに切って塩と酒を振り、4、5分置く。キッチンペーパーで汁気を拭いてオーブントースターでさっと表面を焼く。キノコ類は食

べやすい大きさに切る。ニンジンは千切りにする。ミツバはさっとゆでて1cmの長さに切る。ギンナンは殻を取ってゆで、薄皮をむく。

③炊飯器にAの調味料を入れ、炊飯器の2合の目盛りまで水を加える。②のキノコ類、ニンジン、さっと焼いたサケを

加えてスイッチを入れる。

④炊けたら全体を混ぜて器に盛り付け、②のミツバやギンナンを散らす。

直売所 情報

お米の特売日

JAうつのみやおすすめの「みやおとめ(コシヒカリ)」をお買い得価格にて販売します!!

JAグリーンインターパーク 毎月5日 第3日曜日(10/20)

JAグリーンかみかわち 毎月8の付く日(10/7 ※8日が定休日のため、18、28)

※お米の在庫状況によっては売り切れの場合がございます。

新米はJA
直売所で!!

キャンペーン

※内容や詳細は、各店舗にお尋ねください。

JA農産物直売所県内統一キャンペーン

1,500円以上のお買い物をして賞品を当てよう!

10/1~31

対象店舗: JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち、上三川いきいきプラザ農産物直売所

採れたてうつのみやまるかじりキャンペーン

宇都宮産の農産物を購入して賞品を当てよう!

10/1~12/15

対象店舗: JAグリーンインターパーク、JAグリーンかみかわち、「えきの市場」内JA農産物直売所

JAグリーンかみかわち
生産者さん募集中!

詳しくは直売所担当者まで TEL:028-674-2711

11/1~2月末の期間、以下のとおり
営業時間が冬時間に変更となります。

店舗	営業時間	定休日
JAグリーンインターパーク	9:00~16:00	第2火曜日

JA直売所のご案内 (10月)

店舗	電話	営業時間	定休日
「えきの市場」内JA農産物直売所	028-627-8438	10:00~20:00	なし
JAグリーンインターパーク	028-656-1212	8:30~17:00	なし
JAグリーンかみかわち	028-674-2711	9:00~17:00	第2火曜日(10/8)
上三川いきいきプラザ農産物直売所	0285-55-1515 <small>上三川市民センター1階(上三川)</small>	9:00~13:00	第2火曜日(10/8)、いきいきプラザ閉館日(10/29~31)

はじめるなら今!

JAバンク栃木

NISA スタートキャンペーン

キャンペーン期間 2024年9/2月 ▶ 2025年3/31月

NISA口座新規開設 + ご利用で /

最大



©よりぞう

2,500円

プレゼント!

現金

もれなく

NISA口座新規開設で

現金

1,500円プレゼント



さらに

NISA口座を新規開設した方で
2025年4月30日(水)時点において
NISA口座に5,000円以上の残高のある方は

※残高は契約金額とする。

現金 1,000円プレゼント

【キャンペーンに関する留意事項】●個人のお客様に限り、●キャンペーン期間内にNISA口座を新たに投資信託取扱JAで開設された方。(他金融機関からの金融機関変更によるNISA口座開設も含みます)。さらに2025年4月30日(水)時点において5,000円以上残高のある方(残高は契約金額とする)を対象といたします。●現金のプレゼントは2025年5月中旬に投資信託指定貯金口座にお振込みいたします。現金振込みの際に投資信託指定口座が解約となっている場合は現金のプレゼントの対象外となります。●プレゼントは課税対象となる場合があります。詳細は所轄の税務署にご相談ください。●キャンペーン期間中であっても、情勢等によりキャンペーンの内容を変更・終了する場合があります。●JA/バンクネットサービスからのお申込みも対象となります。
【NISAに関する留意事項】●2024年1月1日現在(2025年以降は、2025年1月1日現在)で、18歳以上の方が口座を開設できます。●NISA口座開設は当JAから税務署に届出をするため、開設までに一定の期間を要する場合がございます。

投資信託に関してご留意いただきたい事項

- 投資信託は預貯金とは異なり、元本の保証がありません。
- 投資信託は、貯金や共済契約ではありません。
- 投資信託は預金保険・貯金保険の対象ではありません。
- JAバンクが取り扱う投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- JAバンクは投資信託の販売会社であり、投資信託の設定・運用は投資信託会社が行います。
- 投資信託は国内外の有価証券等で運用されるため、信託財産に組み入れられた株式・債券・REIT等の値動きや為替変動に伴うリスクがあります。このため、投資信託資産の価値が投資元本を下回るリスク等は、投資信託の購入者に帰属します。詳しくは、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- 投資信託の運用による利益及び損失は、投資信託の購入者に帰属します。
- 当JAでは、お客様から有価証券の売買等に必要なお金および有価証券をお預かりし、法令に従って当JAの財産と分別して保管させていただきます。また、券面が発行されない有価証券について、法令に従って当JAの財産と分別し、記帳および振替を行います。

- 一部の投資信託には、特定日にしか換金できないものがあります。
- 投資信託の購入から換金・償還までの間に、直接または間接的にご負担いただく代表的な費用等には以下のものがあります。なお、これらの手数料等はファンド・購入金額等により異なるため、具体的な金額・計算方法を記載することができません。各投資信託の手数料等の詳細は契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)でご確認ください。
- ・購入時: 申込手数料がかかるファンドがあります。
- ・運用期間中: 運用管理費用(信託報酬・管理報酬等)が日々信託財産から差し引かれます。
- ・換金時: 信託財産留保額がかかるファンドがあります。
- お申込みにあたっては、契約締結前交付書面、投資信託説明書(交付目論見書)を十分お読みいただき、内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

NISA(少額投資非課税制度)に関してご留意いただきたい事項

- NISA口座は同一年において1人1口座だけ開設できます。複数の金融機関で開設はできませんのでご注意ください。ただし、金融機関の変更は可能です。
- NISA口座の申込書が複数の金融機関にそれぞれ提出されると、税務署における確認に時間を要し、NISA口座の開設に相当の期間を要する場合や、NISA口座が開設できない場合があります。
- 口座開設の手続き・留意事項はJA窓口でお尋ねください。他の金融機関でNISA口座をすでにをお持ちの場合は手続きが異なります。お手続き留意事項はJA窓口でお尋ねください。

- NISA口座や課税口座の開設に関する最終的な判断は、お客様ご自身で行っていただけますようお願いいたします。
- 具体的な税法上の取り扱い等につきましては、税理士や税務署等にご相談ください。
- 基準経過日における氏名・住所の確認が必要になります。

宇都宮農業協同組合 登録金融機関 関東財務局長(登金)第384号
2024年9月2日現在

豊郷支所 **だより**

各支所の活動や地域の情報をお届けします！



里山一面のキバナコスモス



宇都宮市長岡町の宇都宮美術館南側の畑約3,500平方メートルに、鮮やかな黄色のじゅうたん「キバナコスモス」が一面に広がりました。

コスモス畑は美術館駐車場から「豊郷まほろばの道」を南に約600メートル歩いた場所にあります。

豊郷支所の組合員、鈴木康夫さんが28年前に宇都宮美術館が開館したと同時期にソバ畑からコスモス畑に転換し「来館者に自然豊かな里山を楽しんでほしい」と作り始めたそうです。2006年には、各関係者の協力により「とちぎ花のまちづくりコンクール 実践活動の部」で優秀賞を受賞しました。

今年も開花の時を楽しみに、6月に地域住民の皆さんと協力して種をまきました。最盛期である8月中旬から9月中旬には、多くの見物客が里山の散策とキバナコスモスの見頃を楽しみに訪れます。

キバナコスモスの楽しみ方は人それぞれで、遠くから一面を見るのもよし！近くで一輪を楽しむのもよし！すてきな時間を過ごせますね。

皆さん！来年ぜひとも、自然豊かな里山の散策をしてみてください。